

鹿島美術財団賞・優秀者 受賞者一覧

鹿島美術財団賞
受賞者一覧
(1994～2020)

※記載されている氏名（敬称略）、所属、研究課題名は選考時のものです。

第1回 (1994)

林 秀薇

東京大学 東洋文化研究所 助手

元代白描画研究

—趙孟頫「水村図」における渴筆の使用について—

(推薦者：戸田 禎佑)

内藤 正人

財団法人出光美術館 学芸員

「北斎漫画」の研究

—とくにその初編を中心に—

(推薦者：河合 正朝)

岡 泰正

神戸市立博物館 学芸員

近世日本陶磁・漆工にみられる西洋絵画の受容と
変容について

(推薦者：成瀬 不二雄)

第2回 (1995)

武田 和昭

仏教芸術文化研究所 研究員

瀬戸内海沿岸に所在する中国・朝鮮半島の仏像・
仏画の研究

(推薦者：光森 正士)

中村 るい

ハーバード大学大学院 博士課程

紀元前4, 3世紀を中心としたギリシア葬礼絵画
の研究：「ヘディステの墓碑」

(推薦者：辻 茂)

第3回 (1996)

根立 研介

文化庁 文化財保護部 美術工芸課 文化財調査官

中世禅宗僧侶肖像彫刻の造像に関する研究

(推薦者：田邊 三郎助)

黒岩 三恵

東京大学大学院 人文科学研究科 博士課程
フランス15世紀前半の透明釉七宝工芸
(推薦者：河野 元昭)

第4回 (1997)

岩崎 均史

たばこと塩の博物館 学芸員
国立歴史民俗博物館蔵 洛中洛外図屏風の考察
～先行版本挿絵との関係～
(推薦者：坂本 満)

栗田 秀法

愛知県美術館 学芸員
ニコラ・プッサンの視覚的源泉に関する基礎的研究
—1640年代を中心に—
(推薦者：宮治 昭)

第5回 (1998)

鷹巢 純

愛知教育大学 助教授
中世後期における六道絵と十王図に関する図像学的研究
(推薦者：宮治 昭)

天野 知香

お茶の水女子大学 文教育学部 助教授
1910年代末から1920年代前半のフランスにおける
批評の文脈とマチスの芸術
(推薦者：馬淵 明子)

第6回 (1999)

安松 みゆき

跡見学園女子大学, 高崎芸術短期大学, 立教大学
非常勤講師
ナチスドイツと日本美術 1939年の「伯林日本古
美術展」の展覧会評を通して
(推薦者：高橋 榮一)

宮下 規久朗

神戸大学 文学部 助教授

「移行期」のローマ画壇とカラヴァッジオ

(推薦者：百橋 明穂)

第7回 (2000)

須賀 みほ

青山学院大学 非常勤講師

米国所在天神縁起絵巻の研究

—ニューヨーク パブリック・ライブラリー所蔵 スペ
ンサー本を中心に—

(推薦者：海老根 聡郎)

松原 典子

早稲田大学大学院 文学研究科 博士後期課程

(シカゴ大学大学院 人文学部美術史学科 博士課程休学中)

エル・グレコ作《ラオコーン》再考

(推薦者：雪山 行二)

第8回 (2001)

近藤 壮

彰考館徳川博物館 学芸員

江戸時代中期の公家文化における画家の研究

—近衛家熙と「中山花木図」をめぐって—

(推薦者：小林 忠)

尾関 幸

東京大学大学院 人文社会系研究科 博士課程修了

エルトマン・フンメルのアートにおける遠近法の役割について

(推薦者：西野 嘉章)

第9回 (2002)

瀬谷 貴之

東北大学大学院 文学研究科 博士課程

貞慶と重源をめぐる美術作品の調査研究

—釈迦・舎利信仰と宋風受容を中心に—

(推薦者：浅井 和春)

大野 陽子

大阪大学大学院 文学研究科 博士後期課程
対抗宗教改革期におけるヴァラッロのサクロ・モンテ

(推薦者：若山 映子)

第10回 (2003)

井形 進

九州歴史資料館 学芸員
福岡平野と異風ある菩薩像
—小田観音堂の千手観音立像を中心に—

(推薦者：菊竹 淳一)

望月 典子

慶應義塾大学大学院 文学研究科 後期博士課程
ニコラ・プッサンにおける古代美術の受容

(推薦者：末吉 雄二)

第11回 (2004)

五月女 晴恵

東北大学大学院 文学研究科 博士課程後期
常盤源二光長周辺制作絵巻物群の研究
—「伴大納言絵巻」の制作目的について—

(推薦者：須藤 弘敏)

大島 徹也

ニューヨーク市立大学ザ・グラデュエイト・センター
美術史学科 博士課程
ジャクソン・ポロックのカット・アウト・シリーズ
—マティスとピカソの同化の試み—

(推薦者：藤枝 晃雄)

第12回 (2005)

村上 博哉

愛知県美術館 主任学芸員
松本竣介研究
—《画家の像》、《立てる像》、《五人》《三人》の解説—

(推薦者：市川 政憲)

宮島 綾子

国立新美術館 設立準備室 研究員

ニコラ・プッサンとその周辺のフランス人画家に
おける古代受容の一様相

(推薦者：丹尾 安典)

第13回 (2006)

竹浪 遠

黒川古文化研究所 研究員

唐代山水画の主題に関する研究

— 神仙山水と樹石画を中心に —

(推薦者：梶谷 亮治)

久米 順子

早稲田大学大学院 文学研究科 博士後期課程

サン・ミリャン・デ・ラ・コゴーリャ修道院スク
リプトリウム研究

— 11世紀スペイン写本の転換 —

(推薦者：雪山 行二)

第14回 (2007)

シュワルツ・アレナレス・ロール (Schwartz-Arenales Laure)

お茶の水女子大学 比較日本学研究センター 助教授

「応徳涅槃図」試論

— 陰陽道と星辰信仰をめぐる二重のイメージ —

(推薦者：秋山 光文)

芳賀 京子

国立西洋美術館 学芸課 リサーチフェロー

古代ローマ世界の「マント式ヘルマ柱」

— ローマ人によるギリシア美術のパトロネージ —

(推薦者：三浦 篤)

第15回 (2008)

清水 緑

財団法人三溪園保勝会 学芸員

下村観山と原三溪にみる作家と支援者の関係

(推薦者：長岡 龍作)

落合 桃子

早稲田大学 第二文学部 助手
早稲田大学大学院 文学研究科 博士後期課程
フリードリヒ《四季》連作
—画家の世界観からの検討—
(推薦者：丹尾 安典)

第16回 (2009)

榎山 満照

早稲田大学 文学学術院 助手
四川省雅安市高頤闕にみる漢代儒教図像の地域的
展開
(推薦者：吉村 怜)

孝岡 睦子

神戸大学大学院 文化学研究科 博士課程
財団法人大原美術館 学芸員
パブロ・ピカソ初期作品と伝統
—スペイン前衛美術と「スペイン的」なものをめぐって—
(推薦者：百橋 明穂)

第17回 (2010)

加藤 弘子

東京藝術大学大学院 美術研究科 博士後期課程
円山応挙の写生図に関する調査研究
(推薦者：海老根 聰郎)

佐々木 千佳

東北大学大学院 文学研究科 専門研究員
15世紀後半ヴェネツィアの祭壇画に関する事例研究
—サン・ミケーレ・イン・イーゾラ聖堂由来ジョヴァンニ・
ベッリーニ《キリストの復活》を中心に—
(推薦者：尾崎 彰宏)

第18回 (2011)

ラワンチャイクン 寿子

福岡アジア美術館 学芸課 収集展示係長

日本の植民地統治下の美術活動

—植民地官展作家と審査員の作品の調査研究を中心に—

(推薦者：後小路 雅弘)

小林 亜起子

東京藝術大学大学院 美術研究科 博士後期課程

フランソワ・ブーシェによる王立ボーヴェ製作所

のタピスリー連作〈神々の愛〉について

—〈バックスとエーリゴネ〉の愛をめぐる—

(推薦者：森田 義之)

第19回 (2012)

谿 季江

関西大学大学院 文学研究科 博士課程後期課程

大津絵再考

—近世絵画史における大津絵の位置づけ—

(推薦者：中谷 伸生)

深田 麻里亜

東京藝術大学大学院 美術研究科 博士後期課程

ヴィツラ・マダマ、左廊ヴォールトの《ネプトゥヌス》

—「クオス・エゴ」と教皇レオ10世称揚の図像—

(推薦者：森田 義之)

第20回 (2013)

池田 美美

サントリー美術館 学芸員

草創期の歌舞伎表現を探る

—絵画史研究と芸能史研究の複合的アプローチ—

(推薦者：佐藤 康宏)

荒木 文果

九州大学大学院 人文科学研究院 専門研究員
ブファリーニ礼拝堂壁画とカラファ礼拝堂壁画に
おけるフランチェスコ会とドメニコ会の競合をめ
ぐって

(推薦者：浦上 雅司)

第21回 (2014)

五十嵐 公一

兵庫県立歴史博物館 学芸員

山本友我の研究

(推薦者：佐藤 康宏)

町田 つかさ

和泉市久保惣記念美術館 学芸員

パブロ・ピカソによる1950年代の立体作品について
— Alfred Barr Papers に見る展覧会 “The Sculpture of
Picasso” (1967) の実態とその意義 —

(推薦者：益田 朋幸)

第22回 (2015)

ミウオシュ・ヴォズニ (Milesz Ryszard Wozny)

慶應義塾大学大学院 文学研究科 後期博士課程
曾我蕭白筆「雪山童子図」について

— 『釈迦の本地』、捨身飼虎、庚申信仰との関係を中心に—

(推薦者：内藤 正人)

杉山 菜穂子

三菱一号館美術館 学芸員

トゥールーズ=ロートレックとシエレのジャポニスム

(推薦者：三浦 篤)

第23回 (2016)

小林 俊介 (代表者)

山形大学 地域教育文化学部 教授

高橋源吉研究

(推薦者：五十殿 利治)

豊田 唯

長崎県美術館 学芸員

セビーリャ、サンタ・カリダード聖堂研究

—ムリーリョの「七つの慈悲の業」連作をめぐって—

(推薦者：村上 博哉)

第24回 (2017)

三本 周作

和歌山県教育庁 生涯学習局 文化遺産課 技師

愛知・瀧山寺伝来の鎌倉時代初期慶派作例 2 件に

関する調査研究

(推薦者：藤岡 穰)

東海林 洋

ポーラ美術館 学芸員

パブロ・ピカソ1912-1916

—エヴァ・グエルの肖像を中心に—

(推薦者：篠塚 千恵子)

第25回 (2018)

高志 緑

大阪大学 文学部 助教

陸信忠筆「仏涅槃図」に関する研究

(推薦者：藤岡 穰)

塚田 美香子

成城大学大学院 文学研究科 博士課程後期

実践女子大学 非常勤講師

ピカソとメランコリー

—クラシック期の裸婦像に見る情感、様式、図像の諸問題—

(推薦者：篠塚 千恵子)

第26回 (2019)

横尾 拓真

名古屋市博物館 学芸員

谷文晁を中心とした関東南画（文人画）における

中国絵画学習の研究

—清代福建様式の影響を中心に—

(推薦者：佐藤 康宏)

森 結

九州大学大学院 人文科学府 博士後期課程
北九州市立大学 非常勤講師
オルヴィエート大聖堂サン・ブリツィオ礼拝堂装飾の制作背景
—腰壁装飾に見られるピントゥリッキオ工房との関連から—
(推薦者：後小路 雅弘)

第27回 (2020)

神田 惟

東京大学 東洋文化研究所 特任研究員
新出のイマーム・ムーサー・カーズィム廟寄進銘
及びペルシア語詩銘入り真鍮製燭台について
(推薦者：秋山 聰)

藤崎 悠子

武蔵野美術大学 非常勤講師
ルネサンスのイタリアにおける「キリスト哀悼」
彫刻群像表現の研究
(推薦者：朴 亨國)

優秀者一覧

(1995～2020)

※記載されている氏名（敬称略）、所属、研究課題名は選考時のものです。

第2回 (1995)

加須屋 誠

帝塚山学院大学 専任講師

聖衆来迎寺本「六道絵」の調査研究

(推薦者：成瀬 不二雄)

広瀬 緑

京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科 博士後期課程

19世紀後半のヨーロッパの染織品におけるジャポニズム (ミュルーズ, リヨンを中心に)

(推薦者：橋本 綾子)

第3回 (1996)

漆 紅

東京大学大学院 美術史学 博士課程

誕生仏の一形式について

— 荊州大明寺伝優填王像に関する一つの記事をめぐって —

(推薦者：戸田 禎佑)

蜷川 順子

近畿大学 文芸学部 講師

初期ネーデルラント絵画における結婚の図像

— メムリンクの〈聖カタリーナの神秘の結婚〉 —

(推薦者：勝 國興)

第4回 (1997)

石井 元章

東京大学大学院 人文社会系研究科 第一種博士課程

ピサ高等師範学校大学院 文哲学専攻

「Gakù」— 「純正美術」と応用美術の間で (第2回ヴェネツィア・ビエンナーレにおける日本美術)

(推薦者：西野 嘉章)

徳山 光

長崎県立美術博物館 学芸専門員

「雪のサンタ・マリア」図の黒子 (ほくろ)

(推薦者：平田 寛)

第5回 (1998)

加藤 陽介

太田記念美術館 学芸主幹
小林清親の洋風表現について
(推薦者：小林 忠)

荒川 裕子

清泉女子大学 非常勤講師
博物学から絵画へ
—J.M.W.ターナーの〈捕鯨〉作品を中心に—
(推薦者：鈴木 杜幾子)

第6回 (1999)

笠嶋 忠幸

出光美術館 学芸員
俵屋宗達研究への新たな指標
—烏丸光廣の花押をめぐる—
(推薦者：小林 忠)

木俣 元一

名古屋大学 文学部 助教授
シャルトル大聖堂のステンド・グラスにおける
「寄進者像」の再解釈
(推薦者：宮治 昭)

第7回 (2000)

小林 祐子

学習院大学大学院 人文科学研究科 博士後期課程
近世漆工芸における中国趣味の受容と展開
—小川破笠を中心に—
(推薦者：小林 忠)

佐藤 サアラ

根津美術館 客員研究員
明代中期正徳におけるアラビア文字文青花についての一考察
—その生産背景と景德鎮窯業における位置—
(推薦者：紺野 敏文)

鈴木 勝雄

東京大学大学院 人文社会系研究科 博士後期課程
水彩画の流行と風景の変容
(推薦者：西野 嘉章)

第8回 (2001)

谷口 耕生

東北大学大学院 文学研究科 博士課程
仏涅槃図の研究
—高山寺本・浄教寺本を中心として—
(推薦者：有賀 祥隆)

笠原 美智子

東京都写真美術館 学芸員
エイズと美術…エイズはいかに写真を変えたか
—ニコラス・ニクソンの作品を巡って—
(推薦者：馬淵 明子)

第9回 (2002)

植野 かおり

柳川藩主立花家資料室 学芸員
江戸時代火事絵巻研究
(推薦者：菊竹 淳一)

佐藤 みちこ

ポーラ美術館設立準備室 学芸員
フランク・ブラングイン研究
—日英美術交流の一側面として—
(推薦者：五十殿 利治)

瀧口 美香

早稲田大学大学院 文学研究科 博士後期課程
福音書記者シンボルの東西
(推薦者：高橋 榮一)

第10回 (2003)

上田 文

関西学院大学大学院 研究員

土田麥僊 初期の作品について

—「春の歌」「罰」「徴税日」における明治30年代後半の西洋絵画受容をめぐる—

(推薦者：永田 雄次郎)

平石 昌子

新潟県立近代美術館 学芸員

19世紀後半のフランス絵画におけるキアロスクーロに関する研究

—モネとジェロームの作品を中心に—

(推薦者：鈴木 杜幾子)

第11回 (2004)

岡戸 敏幸

早稲田大学 非常勤講師

正岡子規の画譜鑑賞

(推薦者：鈴木 廣之)

駒田 亜紀子

名古屋大学 文学研究科 COE 研究員

13世紀フランスを中心とする聖書図像の伝播・交流に関する研究

—『13世紀フランス語聖書』写本挿絵の展開—

(推薦者：宮治 昭)

大久保 恭子

関西外国語大学 国際言語学部 助教授

『ジャズ』—作品分析の方法論をめぐる—

(推薦者：仲間 裕子)

第12回 (2005)

増記 隆介

財団法人大和文華館 学芸部 部員

和装十羅刹女像の図像形成に関する研究

—扇面法華経冊子・平家納経を中心に—

(推薦者：梶谷 亮治)

金沢 百枝

東京大学大学院 総合文化研究科 博士課程

國學院大学 非常勤講師

日本大学 非常勤講師

西欧中世における世界認識と創造主賛美図に関する
図像学的研究

—天地創造型マエスタスの誕生と瞬間的創造—

(推薦者：三浦 篤)

第13回 (2006)

松島 仁

学習院大学大学院 人文科学研究科 博士後期課程

寛文期における〈歴史画〉の誕生

—楠公図を中心に—

(推薦者：小林 忠)

野田 由美意

成城大学大学院 文学研究科 博士課程後期

パウル・クレーと舞踊

—第一次世界大戦勃発までに描かれた踊る人物線描画を
中心に—

(推薦者：千足 伸行)

渡辺 晋輔

国立西洋美術館 研究員

複製版画と批評

—ジュリオ・サヌート《アポロとマルシユアス》の場合—

(推薦者：幸福 輝)

第14回 (2007)

板倉 聖哲

東京大学 東洋文化研究所 助教授

十七世紀日本絵画における中国^{イメージ}像

—狩野山雪「藤原惺窩閑居図」(根津美術館)を例に—

(推薦者：佐藤 康宏)

伊藤 佳之

群馬県立館林美術館 学芸員
終戦直後の福沢一郎作品に関する研究
—ニューヨークでの展覧会を手がかりとして—
(推薦者：五十殿 利治)

諸星 妙

慶應義塾大学大学院 文学研究科 後期博士課程
ベラスケスのボデゴンと17世紀セビーリャの知的
環境
(推薦者：末吉 雄二)

第15回 (2008)

黒田 智

明治学院大学 非常勤講師
とり違えられた肖像
—足利義持の肖像制作と天空の地藏菩薩—
(推薦者：佐野 みどり)

松原 知生

西南学院大学 国際文化学部 准教授
カラスとトスカーナ大公
—シエナ、フォンテジュスタ聖堂《ペストの聖母》をめぐ
って—
(推薦者：中江 彬)

第16回 (2009)

岡本 明子

早稲田大学大学院 文学研究科 博士後期課程
室町期の障屏画における“和漢混淆”
—伝土佐廣周筆「四季花鳥図屏風」をめぐって—
(推薦者：村重 寧)

吉澤 早苗

東京藝術大学大学院 美術研究科 博士後期課程
中世末期のシエナにおける風景表現の誕生
—ドゥッチョの《マエスタ》「山頂での誘惑」を中心に—
(推薦者：越 宏一)

第17回 (2010)

竹内 幸絵

神戸大学大学院 国際文化科学研究科 博士後期課程
1920年代日本の広告美術の黎明
—「美人画」ポスターからの離脱とドイツデザインの受容—
(推薦者：宮島 久雄)

萬屋 健司

大阪大学大学院 文学研究科 博士後期課程
ヴィルヘルム・ハマスホイ研究
—後期室内画の展開とその着想源について—
(推薦者：囿府寺 司)

第18回 (2011)

清水 紀枝

早稲田大学大学院 文学研究科 博士後期課程
12・13世紀の日本における如意輪観音像の展開
(推薦者：肥田 路美)

小泉 順也

東京大学グローバルCOE「共生のための国際哲学
教育研究センター」特任研究員
コレクターとしてのモーリス・ドニ
—ゴッガン・コレクションの形成と展覧会の機能をめぐって—
(推薦者：三浦 篤)

第19回 (2012)

加藤 瑞穂

大阪大学総合学術博物館 招聘准教授
16ミリフィルム「cine-memo」に見られる吉原治
良の造形的関心
(推薦者：囿府寺 司)

平泉 千枝

ふくやま美術館 学芸員
ジョルジュ・ド・ラ・トゥールの「夜の絵画」について
—そのテネブリスムの意味—
(推薦者：益田 朋幸)

第20回 (2013)

伊藤 大輔

名古屋大学大学院 文学研究科 准教授
東アジア的観点から見た「信貴山縁起絵巻」の研究
(推薦者：木俣 元一)

鈴木 伸子

東京藝術大学大学院 美術研究科 博士後期課程
ロベール・カンパンの「聖三位一体／父なる神の
ピエタ／恩寵の御座」
—初期ネーデルラント絵画におけるその位置づけ—
(推薦者：越 宏一)

第21回 (2014)

内山 尚子

お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科
博士後期課程
イサム・ノグチによるAP通信のレリーフ《ニュー
ス》におけるジャーナリストのイメージについて
(推薦者：秋山 光文)

上野 友愛

サントリー美術館 学芸員
日本中世絵画における物語と景観
—お伽草子絵巻の再検討を中心に—
(推薦者：佐野 みどり)

第22回 (2015)

中野 慎之

京都府教育庁 指導部 文化財保護課 技師
新南画の成立と展開
(推薦者：根立 研介)

奈良澤 由美

東京大学 総合文化研究科 グローバル地域研究機構 特任研究員
聖なる形：ナルボンヌの「聖墳墓のメモリア」を
めぐる研究
(推薦者：秋山 聡)

第23回 (2016)

キム ジヨン
金 智英

東京藝術大学大学院 美術研究科 博士後期課程
在日朝鮮人美術家・真鍋英雄（金鐘湍：1914-1986）
に関する研究

—戦後日本に残った朝鮮人留学生の一例として—
（推薦者：佐藤 道信）

矢追 愛弓

九州大学大学院 人文科学府 博士後期課程
フェルナン・クノッフ作品における「宿命の女」
—文学との関わりから—

（推薦者：後小路 雅弘）

第24回 (2017)

永井 久美子

東京大学大学院 総合文化研究科 助教
紫式部の近代表象

—古典文学の受容と作者像の流布に関する—考察—
（推薦者：今橋 映子）

川上 恵理

神戸大学大学院 人文学研究科 博士後期課程
ルドルフ 2 世治世下のプラハにおける芸術運動
—バルトロメウス・スプランゲル作《知恵の勝利》の油彩
画と版画を中心に—

（推薦者：宮下 規久朗）

第25回 (2018)

白木 菜保子

九州大学大学院 人文科学府 博士後期課程 単位取得満期退学
逸見（狩野）—信筆五百羅漢図における梵土表象
の調査研究

（推薦者：井手 誠之輔）

百合草 真理子

名古屋大学大学院 人文学研究科 特任助教
パルマ大聖堂の天井画における観者の視覚経験
—1520年代のコレッジヨ絵画との関わりから—
(推薦者：木俣 元一)

第26回 (2019)

宮田 太樹

福岡市美術館 学芸員
北部九州における神仏習合造像をめぐる研究
—平安時代前期を中心に—
(推薦者：井手 誠之輔)

亀田 晃輔

神戸大学大学院 人文学研究科 博士課程後期課程
1880年代におけるクロード・モネと美術市場につ
いて
(推薦者：宮下 規久朗)

第27回 (2020)

荻開津 通彦

山口県立美術館 普及課長
中世絵画における猿曳きの図様に関する研究
(推薦者：渡邊 雄二)

長名 大地

東京国立近代美術館 研究員
第二次世界大戦下におけるピエール・マティス画
廊の役割
—ヨーロッパとアメリカの美術交流を中心に—
(推薦者：田中 正之)